

農楽塾

【農業・食育】

田んぼ、お米、大隈庭園、農家訪問、学習支援



◆ 活動内容

農楽塾では、平日お昼休みに大隈庭園にあるわせでんにて任意で集まって植物の生育状況を観察する曜日観察を実施しています。また、月2,3回程度東京、神奈川、茨城にある合計6つの提携している農家さんの元へ直接出向いて農作業のお手伝いをさせていただいております。加えて墨田区のステップ学級と早稲田幼稚園の児童を対象に学習支援を行っております。

◆ メンバーの声

農家訪問が特に印象に残りました。提携している農家さんは無農薬で野菜を育てていることが多く、雑草の刈り取りなどお手伝いさせていただきました。この活動を通して、農作業とは苗の植え付けや収穫などの目立つ作業だけではなく一つ一つ地道な作業の積み重ねであることがわかり、貴重な経験となりました。

◆ 2026年度の活動目標

2026年度には、さらに多くの農家さんと提携し、農家訪問の回数を増やしてまだ経験の浅いサークル員がより農作業に触れやすい環境を作っていきたいです。さらに、大隈庭園のわせでんにおいても、土壌改良を実施して9月のお米の収穫量を増やしていきたいです。学習支援についても回数を増やして、さらに児童との関わりを増やして子ども達が農業に触れるきっかけを作っていきたいです。

◆ サークル情報

設立年： 2003年
メンバー数： 106人
活動頻度： 通常活動:平日昼休み(任意参加)
農家訪問:月2,3回程度(任意参加)
総会:年1,2回(原則全員参加)
主な活動場所： 通常活動:大隈庭園
農家訪問:東京、神奈川、茨城各所
参加費用： 年会費3000円

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月:田おこし
5月:代かき
6月:田植え
7月:ネット張り
夏休み(9月):夏合宿、稲刈り
11月:早稲田祭
12月:総会、収穫祭
春休み(3月):春合宿

広報

ウェブサイト

Instagram

X

Facebook



思惟の森の会

【地域交流】

一次産業、共同生活



◆ 活動内容

岩手県の田野畑村に年3回(春、夏、秋)の合宿に加え、村のイベントや挨拶回りで平均して年に10回ほど訪れる。合宿では森林保全活動や地域交流を中心に行う。森林保全活動としては、オマルペ山と思惟の森、芽株山の間伐や下草刈りなどの山作業を行う。地域交流活動としては村の方々の農林水産から観光業までのお手伝いをさせていただいたり、村のこどもたちと一緒に遊んだりといった交流をしている。また、お祭りなどでは学生ボランティアとして各イベントに貢献している。

◆ メンバーの声

ここ2年ほどで会員の数が大きく増加し、活動の幅が広がったことでより村の方々との交流が増加したように感じる。村に訪問する度に新たな経験や学びが増え、一日一日がとても充実していたように思う。特に昨年度はサークルの名前にも含まれる「思惟」という言葉が入ったインターチェンジも開通し、我々と村との深いつながりを感じることができた。

◆ 2026年度の活動目標

今年度は従来の活動の充実はもとより、昨年度田野畑村の教育委員会と締結した教育連携協定を元とした教育支援に尽力していくことを目標としている。これまで村の方々からいただいた恩を教育という新たな面から返していこうと考えている。特に、村のこどもたちとの自然の中での交流の場を設けたり、現地の学校に訪問してこどもたちの授業支援をしたりといった活動を通して、学生自身もこどもたちから刺激を受けて新たな学びを得られる機会になることを期待している。

◆ サークル情報

設立年: 1968年
メンバー数: 150人
活動頻度: ミーティング: 月1回
合宿: 年3回
主な活動場所: 活動場所: 田野畑村
ミーティング: WAVOC会議室
参加費用: 入会費・年会費なし
現地活動費1回あたり約1万

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

ゴールデンウィーク: 新歓合宿
夏休み(7月下旬～8月上旬): 現地活動(お祭りなど)
夏休み(8月下旬～9月上旬): 夏合宿
10月: 現地活動(産業祭り)、稲門祭
10月下旬～11月上旬: 秋合宿
3月下旬: 挨拶回り

広報

ウェブサイト



Instagram



X



Facebook



ブログ



びよーんど

【教育】

不登校、居場所、個別学習支援、地域イベント、公立中学校



◆ 活動内容

学生団体びよーんどは、杉並区立中瀬中学校との連携協定に基づき、教室に入りづらい生徒の居場所「ほっとスペース」を拠点に活動しています。同室では学習支援や見守りに加え、黒板アートや装飾で「安心して過ごせる空間づくり」を実践しています。また、他校での修学旅行同行や行事補助、杉並区の交流自治体・静岡県南伊豆町と連携したイベント企画、オンライン教育支援など、活動は校外へも広がっています。支援の質を高めるため、有識者を招いた勉強会や教員との協議、定例会を通じた研鑽を重ね、より良い活動を追求め続けています。

◆ メンバーの声

学習に苦手意識を持つ生徒の学習支援の一環として、学習プリントに取り組んだご褒美に、好きなシールを選ぶ仕組みがあります。生徒の好きなキャラクターのシールを自作して用意したところ、嬉しそうにシールを選ぶ姿が印象的でした。派手な活動ではありませんが、少しずつ心を開いてくれる生徒の姿に日々活力をもらっています。

◆ 2026年度の活動目標

「従来の教育に学生であることの強みを掛け合わせて生徒とメンバーが共に成長する」というビジョンのもと、協定締結校である杉並区立中瀬中学校での居場所づくりと学習支援を深化させます。黒板アートや個別の生徒に合わせた工夫など、学生ならではの感性で生徒が心を開ける環境を提供する他、静岡県南伊豆町でのイベント企画やオンライン学習支援など地域を超えた活動も展開します。有識者や教員との連携で支援の質を高め、既存の枠にとらわれない学びの場で生徒と共に成長し続ける1年を目指します。

◆ サークル情報

設立年： 2023年

メンバー数： 20人

活動頻度： 中学校での活動(月2回、平日8:30～14:00のうち2時間程度)、月2回の全体定例会、月1回程度の勉強会・フィールドワーク。
不定期で小中学校のイベント企画・運営補助や、修学旅行の引率。

主な活動場所： ミーティング:WAVOC会議室、w-space、活動場所:杉並区立中瀬中学校・静岡県南伊豆町など

参加費用： 入会費:3,000円
年会費:なし
現地活動費:なし

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月:入学式
5月:新歓レク
6月:期末試験放課後補習教室、体育大会
7, 8月:夏期補習教室
9月:中間試験前放課後補習教室
10月:音楽発表会、夏合宿
11月:期末試験前放課後補習教室、早慶戦観戦、早稲田祭
1月:高校受験対策指導
2月:期末試験前放課後補習教室
3月:卒業式

月1回程度 土曜授業補助、勉強会、フィールドワーク
月2回 全体定例会

広報

ウェブサイト



Instagram



X



Facebook

■ 問合せ先

beyooond2023@gmail.com

登録サークル

環境ロドリゲス

【教育・環境・自然保護】

里山、海、環境教育、商品開発、プラスチック、地域活性



◆ 活動内容

環境ロドリゲスは、学生が主体となって多様なアプローチから環境問題の解決を目指す、創立29年の環境ボランティアサークルです。「環境×里山・海・教育・地域活性・商品開発・プラスチック」の6つの企画に分かれ、自分の興味に合わせて活動できます。大学生ならではの自由な発想で学び、挑戦し、仲間とともに成長できる場がここにあります。環境に関心がある方も、何か新しいことを始めたい方も、ロドリゲスで楽しく一歩を踏み出してみませんか？

◆ メンバーの声

今年の活動を通して、環境問題は一人ではなく仲間と向き合うことで大きく前進できると実感しました。ビーチクリーンやワークショップで子どもたちと接した経験は、環境を伝えることの楽しさと難しさを教えてくれました。ロドでの時間は、自分の視野を広げてくれる大切な学びの場です。

◆ 2026年度の活動目標

2026年度は、各企画の専門性をさらに深めつつ、企画同士の連携を強化し、ロド全体で環境課題にアプローチできる体制をつくりたいです。外部団体との協働やイベント主催にも積極的に挑戦し、学びの機会を広げます。また、活動の目的設定と振り返りの質を高め、メンバー一人ひとりが主体的に成長できる環境づくりを目指します。ロドでの挑戦を、社会に届くアクションにつなげていきたいです。

◆ サークル情報

設立年： 1997年
メンバー数： 110人
活動頻度： MTG: 企画ごと週1回
活動: 企画ごと月2～3回
主な活動場所： MTG: 早稲田大学 学生会館 E817
参加費用： 年会費 3000円/半年

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月: 新歓期間・説明会／新歓イベント
ゴールデンウィーク: 新歓合宿(1泊2日)
5～6月: 各企画の現地活動本格化
7月: 試験休み
夏休み(8～9月): 夏合宿 & 現地活動
10～12月: 各企画の現地活動本格化
1月: 試験休み
2月～3月: 春合宿 & 現地活動

広報

ウェブサイト



Instagram



X



Facebook



■ 問合せ先

rodo.contact1204@gmail.com

公認サークル

リトルヤンゴンプロジェクト

【国際交流、教育】

ミャンマー、教育支援、国際交流



◆ 活動内容

私たちリトルヤンゴンプロジェクトは、高田馬場に形成されたミャンマーコミュニティであるリトルヤンゴンにテーマに、外国人支援を通じたボランティア活動を行っています。毎週金曜日に実施している学習会の運営の他、ミャンマールーツの子供たちの日本語学習支援および学校教育の補習も行っています。長期休暇等には、学習会に参加する子どもたちやその兄弟、友人たちと一緒に、運動会を開催したり、ミャンマールーツの方の語りを聞く会等を実施し、異文化理解・自己内省の実現を目指しています。

◆ メンバーの声

メイン活動の学習会は、すぐ成果が目に見えるわけではありません。当初私は、理念に賛同しつつ、その成果をなかなか実感できず、もどかしさを感じていました。しかし、活動が続けると、子ども達が私の名前を覚えてくれたり、大人の方から労いの声をかけていただいたりと、小さくも印象的だったことが何度もありました。ボランティアを通じ、少しずつ誰かの居場所や信頼を築いていく。そんな経験をあなたもしてみませんか。

◆ 2026年度の活動目標

- ・現在行っている学習会や、定期開催イベントについて、組織体制を見直したり、ボランティアやミャンマーに関する知識を獲得することで、安定した運営を行うとともに、私たちの活動を支援対象者にとってより魅力的なものにする。
- ・本団体の目的と合致した各種NPO、協会、団体、サークル等と連携・協働し、ミャンマー難民・移民への支援の推進・発展に寄与する。

◆ サークル情報

設立年： 2024年
メンバー数： 22人
活動頻度： ミーティング：月一回
活動：週一回程度
主な活動場所： ミーティング・活動：ケヤキハウス
参加費用： なし(未定)

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

通年：学習会
4～5月：新歓活動
夏休み：夏合宿・運動会
11月：早稲田祭
春休み：報告活動(ボランティアEXPO等への出展)

広報

ウェブサイト

Instagram

X

Facebook



WHABITAT

【地域交流、国際交流、防災・災害復興、環境・自然保護、農業・食育】
住居建築支援、地域活性化



◆ 活動内容

WHABITATは、国際NGO団体『Habitat for Humanity Japan』の学生支部に属し、主に春季・夏季休業期間に東南アジアの貧困地域で住居建築支援を行っています。また、夏季休業期間に日本各地で地域活性化や古民家再生・農業支援を実施しています。短期では、都内近郊での農業支援・ごみ拾い・早稲田南町での祭礼支援も行っています。毎週水曜日のミーティングでは、メンバー交流と多種多様なテーマで学ぶ機会を作っています。イベントも定期的に実施し、春/夏合宿がその例に当たります。

◆ メンバーの声

私は2025年夏、インドネシアで住居建築ボランティアにリーダーとして、参加しました。ご高齢のホームオーナーさんとのコミュニケーションは決して簡単ではありませんでしたが、簡単なインドネシア語の挨拶や笑顔、身振りを通して、少しずつ気持ちを通わせることができました。言葉が十分に通じなくても、表情や態度で、心はつながると実感できた、印象に残る経験でした。

◆ 2026年度の活動目標

昨年度に引き続き、春季・夏季休業を利用した東南アジア地域への住居建築支援ボランティアの実施に加えて、日本各地への1泊～1週間程度の派遣を定期的に実施したい。年々増加するサークル員個々のニーズに応えられるよう、新たな派遣地でのボランティア活動も実施したい。また、春合宿・夏合宿を含む様々なイベントを増やしたいほか、内容を質の高いものにするなど、ボランティア活動の機会提供とともにサークル員の満足度の向上を図りたい。

◆ サークル情報

設立年： 2006年
メンバー数： 113人
活動頻度： ミーティング：毎週水曜日(対面、テスト期間及び長期休業期間除く)
活動：月1,2回程度(任意参加)
主な活動場所： ミーティング：早稲田キャンパス教室・奉仕園
活動場所：東南アジア(インドネシア・カンボジアなど)・地方各地・都内近郊
参加費用： 入会費：なし
会費：半期3000円
現地活動費用：国内(3000円～7,8万程度)・海外(30万円程度)

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月：春合宿(1泊2日)・新歓活動
5月：ビーチクリーン・農業ボランティア・現地活動報告会
6月：レク・現地活動(1泊2日)・農業ボランティア
7月～9月：現地活動(準備～実施)(1週間～2週間程度・国内海外含む)・現地活動(1泊2日)・夏合宿・早稲田地域祭礼支援
10月：防災訓練参加・現地活動報告会・農業ボランティア・レク
11月：早稲田祭・新歓活動・ごみ拾い
12月～3月：現地活動(準備～実施)(4日～2週間程度・国内海外含む)・現地活動(1泊2日)・農業ボランティア・ごみ拾い・レク

広報

ウェブサイト



Instagram



X

Facebook



■ 問合せ先

whabitat.org@gmail.com

公認サークル

狩り部

【地域交流、環境・自然保護、農業・食育】

狩猟 農家支援



◆ 活動内容

近年、日本の地方では過疎高齢化の進行により狩猟の担い手不足が深刻化し、イノシシやシカ、サルなどによる獣害が増える一方で、人手不足のために農地や暮らしを守るための十分な対策が取れない地域が多く存在しています。狩り部では、千葉県鴨川市を拠点に農業自体や獣害の実態を学び、大学生にできる農業支援や食の自給について考え、地元の猟師や農家のもとで狩猟や農作業を実践し、命と食のつながりを体験的に学んでいます。

◆ メンバーの声

このサークルで初めて現地活動に参加する前は、獣害対策には専門的な知識が必要で、大学に入ってから知った自分には何もできないと思っていました。しかし実際に参加すると、現地では人手不足が深刻で、知識が十分でなくても地域の方や先輩の指導のもとで多様なボランティアに関われました。この経験から地方の人手不足の深刻さを実感し、多くの人に関心を持ってほしいと感じました。

◆ 2026年度の活動目標

2025年は、獣害問題への社会的関心の高まりやサークル規模の拡大を背景に、複数の新たな活動拠点を得ることができ、活動の幅を大きく広げる一年となりました。2026年は、昨年築いた地域や関係者とのつながりを大切に維持し、将来につなげていくとともに、新たな連携の創出にも積極的に取り組みたいと考えています。また、サークル設立10周年を迎え活動が安定してきたことを踏まえ、これまで十分に組み合わせていなかった獲物のさらなる有効活用する方法についても模索していきたいです。

◆ サークル情報

設立年： 2017年
メンバー数： 77人
活動頻度： ミーティング 週一回
現地活動 月一回
主な活動場所： ミーティング:WAVOC会議室
活動場所:千葉県鴨川市
参加費用： 年会費2,000円
現地活動費 一回当たり約1,000円

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月:新歓イベント
5月:新歓現地活動
6月:現地活動
7月:イベント
夏休み(8月~9月):複数回の合宿(1泊2日~2泊3日)
10月:早稲田祭準備
11月:早稲田祭
12月:現地活動
春休み(2月~3月):複数回の合宿(1泊2日~2泊3日)

広報

ウェブサイト

Instagram

X

Facebook



■ 問合せ先

wasedakaribu@gmail.com

公認サークル

学習支援サークルBORDER FREE

【教育】
学習支援



◆ 活動内容

「教育格差是正」を理念に掲げ、子どもたちの居場所づくりや学習支援を行なっています。営利塾顔負けの集団授業教室やオンライン個別指導サービスの設立や運営を行い、学習支援の輪を全国に広げています。また、会計やマーケティング、営業なども大学生で行うので、学生ボランティアの枠を超えた本格的な組織運営にも携わることができます。教育に対する熱い志をもったメンバーが多く、和気あいあいと楽しく、時に真剣な雰囲気でも活動しています。

◆ メンバーの声

団体として地方での教室開校に力を入れて活動する中で、知名度や信頼がない状況からのスタートで、行政や地域の方々に理念や思いを一つひとつ丁寧に伝える必要がありました。その過程は決して簡単ではありませんでしたが、次第に活動に共感し、協力して下さる方が増えていったことが強く印象に残っています。同じ思いを持つ人たちに支えられながら活動できていることに、大きなやりがいと喜びを感じた一年でした。

◆ 2026年度の活動目標

東京を中心に活動している学習支援事業を、全国に展開することを目標としています。各地域の特色や教育の現状を踏まえ教室設立を行い、安価で良質な学習支援を全国に届け、1人でも多くの子どもたちの笑顔を増やせるような活動を行なっていきます。規模が大きくなっても子どもたちを第一に、「教育格差是正」という理念を軸に2026年も活動していきます。

◆ サークル情報

設立年： 2021年
メンバー数： 70人
活動頻度： ミーティング:週1回
活動:週1回
主な活動場所： WAVOC会議室
参加費用： なし

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月:新メンバー入会
4月:新体制発表会
5月:新メンバー歓迎イベント
8月:新入生ビジネスコンテスト
9月:夏合宿
12月:忘年会
3月:卒業生追いコン

広報

ウェブサイト



Instagram



X



Facebook

TikTok



児童文化研究会

【地域交流、文化・芸術】

人形劇、児童ボランティア



◆ 活動内容

早稲田大学児童文化研究会は人形劇を中心に児童ボランティアを行っている大学公認のインカレサークルです。制作した人形劇は台本も人形もすべて手作り！依頼を受けた児童館、図書館などに訪問して子供たちに披露しています。週1回のミーティングでは人形や小道具の製作をすることが多いです。人形劇以外にも工作イベントのお手伝いなど、児童ボランティアを通じて子どもたちと交流をする機会もあります。どの活動も行ける人が行くスタンスなので自分の好きなタイミングに気軽に参加できます。

◆ メンバーの声

昨年はありがたいこと年間20回ほど人形劇の公演をさせていただきました。何度も公演をさせていただいていると、どうしてもどこか流しでやってしまいそうになる部分が出てきてしまいます。しかし、いざ子ども達を前にするたびに、演じている側にとっては飽きるほど見た劇でも子供たちにとっては初めてで最後の体験であるということに改めて気付かされます。このことを忘れずに今年も頑張っていきたいです。

◆ 2026年度の活動目標

2026年度は人形劇の完成度を高めつつ、より多くの依頼を受けられる地盤を整えていくことを目標にしています。人形や小道具を今より見栄え良く、耐久性が高くなるよう改良を施していきます。また、新しいことに挑戦しつつも、今までお世話になってきた児童館や図書館との縁も大切にして、より良くなった人形劇を披露できればと思っています。

◆ サークル情報

設立年： 1945年
メンバー数： 23人
活動頻度： 人形劇制作:週1回（任意参加）/人形劇公演:月1回程度（任意参加）
主な活動場所： 人形劇制作:部室（学生会館 E603）/人形劇公演:都内の児童館、図書館、他
参加費用： 人形劇公演の交通費のみ自己負担

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

通年：依頼を受けた先での公演、ボランティア活動、それらに向けた準備
夏休み(8月～9月)：夏合宿
11月：早稲田祭

広報

ウェブサイト



Instagram



X



Facebook

チャータースクールへの教育支援～ハワイ編～

【地域交流、国際交流、教育、文化・芸術】

ハワイ 教育支援



◆ 活動内容

ALOHA!! 私たちチャータースクールへの教育支援～ハワイ編～(Hawaii PJ) は、WAVOCから生まれた早稲田大学公認教育支援ボランティアサークルです。私たちは活動理念の「Learning by Teaching」のもと、毎年夏休みと春休みを利用して、アメリカ合衆国ハワイ州ハワイ島のボルケーノ村にあるチャータースクール(charter school)を訪れ、2週間ホームステイをしながら現地の子どもたちに日本語や日本文化の授業を教えたり、現地の子どもたちと交流を深める活動をしています。

◆ メンバーの声

私は、2025年度の夏渡航に参加しました。2週間のホームステイ生活、ハワイの雄大な自然、VSASの元気な子どもたち、毎日が充実していて素敵な時間を過ごすことができました。VSASの子どもたちは、とても元気で、先生方も私たちに優しく接して下さいます。慣れない英語での授業に不安もありましたが、この2週間を通して、日本の文化をハワイで伝え、同時にハワイの文化についても学ぶことができました。

◆ 2026年度の活動目標

2026年度は、サークル員の人数を増やし、今まで以上に積極的に活動に取り組んでいきたいです。渡航で現地に行くことで直接的に、そして渡航に行けないメンバーも日本からオンラインで子どもたちと触れ合うことで、日本文化を伝えたり、ハワイの文化を学んだりして、活動理念であるLearning by teaching を実践していきます。Hawaii PJがこれからも早稲田大学とVSASとの架け橋となれるよう、サークル員一同頑張っていきます！

◆ サークル情報

設立年： 2002年
メンバー数： 22人
活動頻度： 週1回のオンライン授業参加、年2回のハワイへの渡航(希望者のみ)
主な活動場所： 活動は主にオンライン、偶にWAVOC会議室を使用します
参加費用： 年会費:2000円/ 渡航費用:約30万円(渡航に参加する人のみが負担)

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月:春新歓
夏休み(8～9月):夏渡航(2週間)
10月:秋新歓
11月:早稲田祭
春休み(2～3月):春渡航(2週間)

広報

ウェブサイト



Instagram



X



Facebook



YouTube



■ 問合せ先

hawaii.pj.aloha@gmail.com

公認サークル

新宿子ども会KIDS

【教育】

子ども、特別支援教育



◆ 活動内容

毎週土曜日に戸山公園近くの集会室を借りて、特別支援学級に通う子ども達と楽しく遊んでいます。活動では2人の学生を中心に季節や行事に合わせたテーマを決め、参加者全員が楽しめる工作と集団遊びを準備します。学生同士で反省会を行い、子どもや学生の良かった点や気を付けるべき点を確認し、次へと生かしています。毎週の活動に加え、遠足やクリスマス会、卒業式などのイベントも実施しています。

◆ メンバーの声

遊びの中で、子ども同士が協力して1つのものを完成させた様子が印象に残っています。一人ひとりの力が合わさった瞬間に、嬉しそうな表情を見ることができました。また、子どもたちの成長を学生とともに喜び合える、子ども会の和やかで居心地の良い雰囲気は、大きな魅力だと感じています。

◆ 2026年度の活動目標

引き続き、子どもと学生が安全に楽しく交流できるよう、準備から振り返りを大切にしながら活動を行っていきたいと考えています。また、コロナウイルスの影響により中断していた調理実習の再開についても検討しています。現在は、集会室内で実施可能なケーキのデコレーションなどを取り入れ、段階的な再開を試みています。今後は、実施場所や安全面に十分配慮した上で、調理実習の本格的な実施を目指していきたいです。

◆ サークル情報

設立年： 1982年
メンバー数： 40人
活動頻度： 毎週土曜日
主な活動場所： 戸山公園近くの集会室
参加費用： 前期及び後期2,000円ずつ（入会から半期は不要）

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

通年：子どもたちとの交流活動
4月：新歓活動
9月：夏遠足、学生合宿
11月：秋遠足
12月：クリスマス会
2月：調理実習
3月：卒業式、追いコン

広報

ウェブサイト

Instagram

X

Facebook



■ 問合せ先

shinjukukids@gmail.com

公認サークル

こねくとりっぷる

【地域交流】

ホームステイ、ワークショップ、地域イベント



◆ 活動内容

大学生と長浜市内の継続的な関係づくりを目的として、ワークショップ(フィールドワーク)やホームステイを行います。
大学生・地域の方々が興味を持つようなワークショップ、そして「また会いたい」が相互に生まれるようなホームステイにします。2026年度から本格的に実施予定で、地域連携スタディツアー2025もサポーターとして参加。

◆ メンバーの声

地域での活動を継続させる難しさ、そして活動がやる気だけでは続かないことを実感として感じた。そして「地域」という特性上、思考するよりも行動することが求められるし、行動するごとに責任も感じるようになった。例えば2025年、地域の方々の協力を得てホームステイを検証させていただいた際に、学生のためにお風呂に鍵を取り付けていただいた。

◆ 2026年度の活動目標

今年初めてサークルとして活動を行うにあたり、下記の活動スケジュールに基づき、仮説と検証を繰り返します。
その中で、長浜にとっては、学生の視点を通じた地域住民のシビックプライドの醸成を目標とし、新たな変化や発見の「機会」となることを目指します。
また、学生にとっては、長浜の魅力を体験し、長浜が第二のふるさととなることを目指します。
そして双方にとって、「また会いたい」と思える関係づくりを行い、学生と住民(特に子ども)との継続的な交流により、互いに将来の選択肢や価値観を広げる活動を行います。

◆ サークル情報

設立年: 2026年
メンバー数: 4人
活動頻度: ミーティング: 週1回
主な活動場所: ミーティング: w-space, オンライン
参加費用: 現地活動費 1回あたり約2万円(都度)

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

春学期: ワークショップの準備、現地との調整
8月～9月: ワークショップ(2泊3日)
10月から12月: 振り返り会(オンライン)
春休み(2月～3月): ホームステイ

広報

ウェブサイト

Instagram

X

Facebook



早稲田大学気仙沼チーム

【地域交流、教育、防災・災害復興】
水産業、地域創生



◆ 活動内容

私たちは、東日本大震災直後に生まれた早稲田大学と宮城県気仙沼市とのつながりをきっかけに発足し、継続的な復興支援活動を行ってきました。地元のみなとまつりの運営補助や気仙沼の方々との交流、東京で開催される関連イベントへの参加などを行っています。また、例年3回サークル全体で気仙沼を訪問し、早稲田祭・稲門祭への出店や、大学周辺の店舗と協力したメカジキ弁当の販売を通じて、首都圏から気仙沼の魅力を発信しています。

◆ メンバーの声

気仙沼での活動を通して、復興は「支援する・される」という一方の関係ではなく、人と人との継続的な関わりの中で進んでいくものだと感じました。現地の方々との日常的な会話や、共にイベントをつくり上げる経験から、地域に寄り添い続ける姿勢の大切さを学びました。この経験は、地域や社会と向き合う際の自分の考え方の土台となっています！

◆ 2026年度の活動目標

2026年度は新体制のもと、従来の活動を継承しつつ、プロジェクト制度を新たに導入します。プロジェクトを立ち上げ、役割を明確にすることで、複数の企画を同時進行で実施できる体制を整えます。これにより、一人ひとりが主体的に活動に関わり、企画立案から実行までを経験できる機会を増やすとともに、活動の継続性と質の向上を目指します。地域との関係をより深め、長期的な視点で気仙沼に貢献できる団体となることを目標としています。

◆ サークル情報

設立年： 2011年
メンバー数： 72人
活動頻度： ミーティング：週2回
年3回の気仙沼訪問
主な活動場所： WAVOC会議室
参加費用： 会費1000円(半期)

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4～5月：新歓活動
6月：6月便(新入生気仙沼初訪問)
8月：8月便(みなとまつりボランティア)
9～11月：東京でのイベント運営ボランティア
11月：早稲田祭出店
3月：3月便、東日本大震災追悼企画(予定)

広報

ウェブサイト

Instagram

X

Facebook



NPO法人 ROJE EDUPEDIAプロジェクト

【教育】

サイト運営、教師サポート、記事作成、取材



◆ 活動内容

本団体は、先生の教育実践を発信するサイト「EDUPEDIA」を運営し、教育現場に存在するすばらしい教育実践を取材・記事化して集約し、情報を求める先生方へ届けています。また、教員志望の学生に向けた「EDUPEDIA for STUDENT」も運営し、教育実習や教員採用試験対策に加え、教師という仕事のやりがいや具体的な仕事内容などの情報を発信しています。いずれのサイトも大学生が主体となり、教育に関わる人々を支える情報発信に取り組んでいます。

◆ メンバーの声

取材を通して実際に話を聞くことで、教育現場の状況をより具体的に知ることができました。また、これまで知らなかった多様な教育実践や取り組みを行っている方々の存在を知ることができ、とても貴重な経験になっています。さらに、実際に聞いた内容を自分の言葉で記事としてまとめ、公開することで、より多くの人に届けられる点に大きな意義を感じています。現場の声を発信できることが、このプロジェクトの大きな魅力だと思います。

◆ 2026年度の活動目標

2026年度は、教育現場に存在する多様で価値ある教育実践を、より多くの先生方に届けることを目標とします。取材記事の質と量の向上を図るとともに、取材から記事公開までの制作フローを見直し、効率的かつ継続的な情報発信を実現します。また、学生メンバー一人ひとりが主体的に役割を担い、専門性を高めながら活動できる体制づくりを進めます。さらに、新規メンバーの獲得にも力を入れ、組織としての基盤強化を目指します。

◆ サークル情報

設立年： 2008年
メンバー数： 30人
活動頻度： ミーティング月1～週1
主な活動場所： オンライン、事務室(東京)
参加費用： 年会費3000円

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4～5月：入会式
それ以降：各自やりたい取材に向けて活動
12月：年次集会

広報

ウェブサイト



Instagram



X



Facebook



ウェブサイト



ソーシャルビジネス起業プロジェクト

【ビジネス】

ソーシャルビジネス、能登ボランティア



◆ 活動内容

私たちは、社会課題の解決を目指すソーシャルビジネスに関心を持つ大学生が集まる団体です。ただし、ソーシャルビジネスはあくまで社会課題を解決するための手段の一つと捉えており、学習や実践に取り組むだけでなく、能登でのボランティア参加やビジネスコンテストでのアイデア創出など、社会課題の解決に最も近くアクションを日々模索し、実践しています。また、サークル内ではピッチ練習の機会や、社会課題やビジネスに関する知見を共有する場を設けており、社会課題の解決に向けた基礎的なスキルの習得にも取り組んでいます。

◆ メンバーの声

僕は、ソービスの活動を通して、実際に動いてみることの大切さに気付きました。ソービスという環境にいなかったら参加していなかっただろう、能登ボランティア。社会課題を解決したいと思うことも大事だけど、現地に赴き、肌で感じ、全身で考えることの大切さを学びました。積極的に動く仲間に、気後れすることもあります。とてもエネルギーをもらっています。多様な社会課題に向かう仲間に負けじと、僕もアクション起こします！

◆ 2026年度の活動目標

サークル内の各メンバーが自ら解決したい社会課題をテーマとして設定し、実際に現地へ赴いたり、当事者の声に耳を傾けたりすることで、その課題に関する知見を深める。そこで、得られた知識をサークル内で共有し、これまで以上に解像度の高い視点からソーシャルビジネスや社会課題について考えられるようになることを目指す。また、「社会課題に関心のある人とビジネスをつなぐ架け橋となる」ことをテーマに、SNSや多様な交流の場を通じてソーシャルビジネスに関する発信の機会を増やしていく。

◆ サークル情報

設立年： 2022年
メンバー数： 21人
活動頻度： ミーティング：週1回
主な活動場所： ミーティング／7号館208教室、
WAVOC会議室
活動場所／石川県七尾市周辺、その他
参加費用： 会費(半年)：1000円

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月：新歓
5月～6月：サークル内ソーシャルビジネスビジコンの開催、半年ごとの個々人の活動報告会
夏休み(8月～9月)：夏合宿
10～11月：早稲田祭、講演会の開催
春休み(2月～3月)：春合宿
また随時、ボランティアや現地調査を開催する予定です

広報

ウェブサイト

Instagram

X



まつだい早稲田じょんのびクラブ

【地域交流、国際交流、教育、環境・自然保護、農業・食育】

新潟、教育支援、除雪、ボランティア、米づくり



◆ 活動内容

新潟県十日町市松代地区で、小中学生向け教育支援塾ラッタッタや除雪作業をメインとした雪国体験プロジェクトを軸に、月1で活動しています。これらのプロジェクトに加え、松代支所の方々と協力して、まつだいの陣や、大地の芸術祭といったイベントを盛り上げています。また、昨年度より、棚田の田んぼを地元の方に1枚お借りし、通り農という新たなスタイルでの米作りも行っています。大きな力とはなれずとも、地域と共に生きてゆく。そんな第二の故郷としてのまつだいで、何か力になれるのではないかと日々可能性を模索しています。

◆ メンバーの声

地域の方と挨拶をした時、「あー、早稲田の学生さん！」と声をかけてくれて、地域の一員となれた気がして、嬉しくなった。また、地域の方々と深く関わることで、その問題意識も浮き彫りになったと思う。年々減り続ける人口に、活気を失うイベント。大学生だけで解決できないことがたくさんあることがわかった。現地の小学4年生に松代が将来どうなるか聞いて、滅亡するという回答が笑顔と出てきたことに、戸惑いを隠せなかった。

◆ 2026年度の活動目標

「温故知新でまつだいの恩返しを」

昨年度より、通り農をはじめ、現地で米の生産を行った。猛暑少雨の中、無事に収穫できたものの、使い道が定まらず、持て余してしまったことが反省である。本年度は生産した米を何かしらの形で、まつだいに貢献できるよう、使い道を決めたい。また、イベントの外部参加者や、移住者との交流を増やし、松代と早稲田・東京をつなぐハブのような存在となり、まつだいをより知ってもらえるようにしたい。

◆ サークル情報

設立年： 2004年
メンバー数： 25人
活動頻度： ミーティング：週1回
現地活動：月1回程度
主な活動場所： ミーティング：W-Space
活動場所：十日町市松代周辺
参加費用： 入会費・年会費0円
現地活動費 1回あたり2万円(交通費込み)

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月：山菜取り合宿
5月(ゴールデンウィーク)：新歓合宿・まつだい春の陣出陣
6月：田植え合宿
7月：草刈り合宿・佐渡棚田研修
8月：ラッタッタ・合間に稲架場作り・世田谷夏まつり(松代ブース)
9月：収穫合宿
10月：脱穀合宿
11月：梱包作業・早稲田祭・大地の芸術祭補助
1月：世田谷子どもまつり(松代ブース)
2月：雪国体験プロジェクト
3月：まつだい冬の陣出陣

広報

ウェブサイト

Instagram

X

Facebook



■ 問合せ先

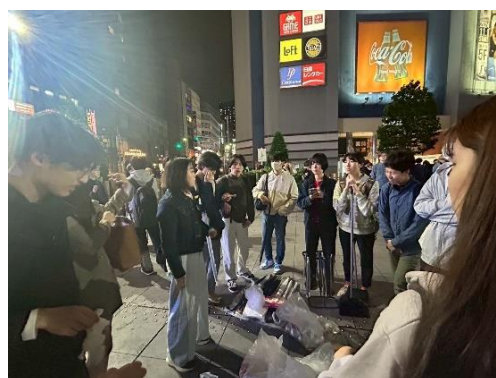
jonnobiclub@gmail.com

公認サークル

ロータリーの会

【環境・自然保護】

高田馬場駅前ロータリー広場、ゴミ問題



◆ 活動内容

ロータリーの会は高田馬場駅前ロータリーのゴミポイ捨て問題に取り組むサークルです。清掃活動や広報を通じた「意識改革」、行政や自治体との「問題共有」、企業や他サークルとの「企画立案」を行っています。清掃は週2日行っているため、好きな時に参加できます。また、広報班・企画渉外班に分かれて毎週行っている班会議では、学年関係なく自由にアイデアを出し合っています。毎月の最終金曜日には会全体での会議があり、会議後にご飯を食べに行くのが恒例です。

◆ メンバーの声

早稲田祭の企画運営や24時間ロータリー企画を通して、大学内だけでなく地域住民、行政、企業、他大学の学生など多様な立場の人々の声を聞く機会を得た。ロータリーは学生だけの場所ではなく、街の文化として多くの人に愛され支えられていることを実感した。外部の視点に触れたことで、活動を新しい角度から考え直すきっかけとなり、より良いロータリーを目指したいという思いが強まった。

◆ 2026年度の活動目標

「ロータリー広場のゴミ問題解決」を目指し、2026年度も引き続き活動の継続・発展を推し進める。日頃からゴミの発生量を減らすための活動を継続するとともに、新歓活動を積極的に行い、多くの新規会員を獲得し、持続的な活動体制の構築を目指す。また、大学や早稲田祭運営スタッフと連携し、早稲田祭後や卒業式後に発生するゴミの削減に取り組む。特に早稲田祭では、大規模な広報・啓発イベントを実施し、来場者一人ひとりの意識向上を図る。

◆ サークル情報

設立年： 2020年
メンバー数： 39人
活動頻度： ミーティング：週2回
清掃活動：週2回
主な活動場所： ミーティング：学生会館部室
清掃活動：高田馬場駅前ロータリー広場
参加費用： なし

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月：新歓活動
6月：サークルコラボ企画
6月：日本語学校で出張授業
8月：高円寺ロータリーの観察
10月：夏合宿、24時間ロータリー観察
11月：早稲田祭
12月：サークルコラボ企画
2月：春合宿（その他随時企画あり）

広報

ウェブサイト



Instagram



X



Facebook

YouTube



青空子ども会II

【地域交流】
子ども



◆ 活動内容

青空子ども会Ⅱでは週1回土曜日に通常活動で文京区内の公園で地域の小学生と遊んでいます。また、月1回程度で遠足や大学の教室を借りて季節にちなんだレクなどのイベントを行っています。イメージとしては学童のようなもので、学生と子どもが和気あいあいと遊び、活動の終了後には希望する家庭には、子どもを家まで送るという家訪制度を取り入れています。

◆ メンバーの声

実際に活動を通じて感じる事としては、小学生は非常に難しいということです。時には鬼ごっこやドッチビーで負けて悔しくて泣いてしまったり、気に食わないことがあると不貞腐れてしまう子など、子ども全員が全く異なる性格をしているのでその子に合った接し方を考えるということが難しいなと感じました。しかし、子どもと遊ぶことでその子の成長であったり、いい所も見えてくるので非常に楽しいです。

◆ 2026年度の活動目標

2026年度の活動は第1に子ども達が怪我のないよう楽しんでもらうことを目標にしています。そして学生にとっても子どもと触れ合うことができる数少ない機会なので楽しんでもらうと共に、活動を通じて子どもとの接し方についても学んでいきたい。そして、今年度は早稲田祭での出店も考えています。また、昨年度の反省を活かし、雨天時は活動が中止となってしまうため、雨天時の際の活動出来る場所を考えていきたい。

◆ サークル情報

設立年： 1980年
メンバー数： 102人
活動頻度： 活動：週1回
イベント：月1回
主な活動場所： 文京区内の公園
参加費用： 年会費4000円

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月～5月：新歓期間
6月：春遠足
7月：七夕
8月：夏のキャンプ
9月：夏合宿
10月：目白祭、ハロウィン
11月：早稲田祭、秋遠足
12月：クリスマス会
1月：節分
2月：冬合宿
3月：卒業イベント

広報

ウェブサイト

Instagram

X



■ 問合せ先

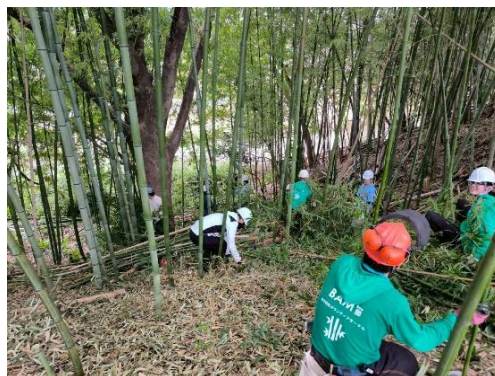
bluesky.kodomokai2@gmail.com

公認サークル

BAM部

【地域交流、教育、環境・自然保護、農業・食育、文化・芸術】

放置竹林 竹林伐採 地域交流 商品開発 竹工作 ハンドメイド



◆ 活動内容

早稲田大学と埼玉県本庄市を二大拠点とし、「竹」資源の循環と活用に取り組むことで、「持続可能な地域との協力」をモットーにして活動しています。定期的な竹林整備や伐採による環境保全活動をベースに、伐採した竹を工作・看板・竹あかり等へ加工利用しています。その際に新しい商品の開発を行い早稲田祭や本庄祭り、その他イベントへ参加して販売、作成の体験をさせることで竹を通じた地域交流や環境教育の実践まで、年間を通して幅広く活動しています。

◆ メンバーの声

印象的だったのは、児童養護施設でのワークショップである。協賛させていただいている埼玉りそな銀行と協力して行った。子どもたちは竹にあまり触れたことが無く、新鮮に感じてくれたのか楽しく竹工作を体験していた。環境整備活動だけでなく、竹を通じて多様な世代や地域をつなぐ機会の創出に携わることができ、見過ごされがちな竹の問題を周知するための手段を学べた。

◆ 2026年度の活動目標

来年度は活動の持続的発展に向け「同世代の巻き込み」を目標とします。現状、子どもや高齢者との交流は順調ですが、大学生、高校生への認知・関心がまだ足りていないように見受けられます。そこで、SNS広報に力を入れることで、竹あかりや竹工作品の魅力を広く発信すること、活動の楽しさをアピールすることで学生層への発信力を高め、新たな仲間の獲得と組織の活性化を目指します。

◆ サークル情報

設立年： 2020年
メンバー数： 26人
活動頻度： ミーティング：週1回
活動：月3回程度(任意参加)
主な活動場所： ミーティング：zoom
活動場所：早稲田大学、埼玉県本庄市
参加費用： 年会費：5000円
活動費：交通費2000～3000円
(補助金で負担ができる場合あり)

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

ゴールデンウィーク：新歓合宿
5月～6月：竹林整備、その他ボランティア
夏休み(8月～9月)：夏合宿
10～11月：竹林整備、依頼のあったところへボランティア
11月：早稲田祭、稲門祭
春休み(2月～3月)：竹林伐採、商品開発

広報

ウェブサイト



Instagram



X



早稲田大学広域BBS会

【国際交流、教育、医療・福祉】
更生保護



◆ 活動内容

早稲田大学広域BBS会は、非行少年・不登校児の支援を行っている法務省管轄団体です。生きづらさを抱えた子どもたちの話し相手になったり、子ども食堂のお手伝いをしたりする活動をしています。実際に現場で活躍されている保護司の方と協力して、支援を行っています。教育や心理に関心がある、社会の役に立ちたい方のご参加をお待ちしています。

◆ メンバーの声

現場に行かないと理解できない社会問題の実像や、現在の制度が抱える欠陥を知ることができます。それにくわえて、実際に活躍している保護司との活動を通じて、社会福祉や教育への関心を深めることができます。そうした活動を続けていく中で、子供たちや支援した方々から感謝の言葉を伝えられたときのことは、忘れられません。

◆ 2026年度の活動目標

2026年度は、新しく入った会員の意見を積極的に取り入れながら、施設見学や研修会といった会員同士であつまる活動をより頻繁に行っていく予定です。また、2026年11月の早稲田祭では、実際に施設で作成された製品を販売することを計画しています。これらの活動と並行して、国際交流など、新たな分野の活動にも力を入れていきます。

◆ サークル情報

設立年： 1998年
メンバー数： 120人
活動頻度： 研修会：月1回
主な活動場所： 活動ごとに異なる
参加費用： 半年に一度、5000円

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

7～8月：施設見学
8月：総会
11月：早稲田祭
※月に1度、研修会

広報

ウェブサイト



Instagram



X



Facebook



助走の場・雲

【地域交流、教育】

不登校支援、居場所支援、学習支援



◆ 活動内容

本サークルは、主に不登校の中高生の方に向けた毎週日曜日の居場所支援を中心として活動をしています。活動の中では、雑談で不登校の方が抱えている悩みや辛さを聴いたり、カードゲームをみんなでやったりするなど、リラックスして自分のままでいてもよいと思えるような居場所を目指しています。また、現在は利用者がいませんが、学習支援という形で、大学生が中高生を対象に勉強のお手伝いをする活動も行っています。

◆ メンバーの声

スタッフの中にも不登校をはじめとした様々な経験や背景を持つ人がいて、それぞれの個性を生かして活動しています。中心的な活動である雑談の中で、利用者の不登校の方が打ち明けた悩みに対して、同じような経験を持つスタッフが答えたときに、利用者の方の肩の力が抜けたように見えました。その時に、様々な個性を持つスタッフがいることで、不登校の方のためになる活動になっているのだと気づきました。

◆ 2026年度の活動目標

2026年度は、利用者の方が昨年度より一人増えた状態で活動をするので、その中でもリラックスした空間を維持できるようにするというのが一番の目標です。また、今年度は新宿区とも連携をして、保護者向けの説明会に参加するという取り組みを行ったのですが、そのおかげで、不登校をめぐる様々な問題を知る機会にもなったため、来年度も外側とのつながりを積極的に増やしていければよいと思っています。

◆ サークル情報

設立年： 2013年
メンバー数： 18人
活動頻度： ミーティング：月1回(任意参加)
活動：月4回(任意参加)
主な活動場所： ミーティング：ZOOM
活動場所：高田馬場住宅
参加費用： なし

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

毎週日曜日：居場所支援、学習支援
7月：保護者向け説明会参加

広報

ウェブサイト

Instagram

X

Facebook



WASEDA STRINGS

【文化・芸術】

音楽、ボランティア、弦楽アンサンブル



◆ 活動内容

WASEDA STRINGS は、「普段コンサートに足を運ぶのが難しい方々にも音楽をお届けしたい」という想いで活動するボランティア演奏団体です。弦楽器を中心に、ピアノやフルートなどのメンバーで、高齢者施設への訪問演奏、大学内カフェ「Orange cat」、早稲田祭での演奏などを行っています。クラシックに加え、高齢者になじみ深い曲や JPOP など幅広い曲を演奏します。一年中メンバー募集していますので、お気軽にご連絡ください！※単発参加での募集もしております。

◆ メンバーの声

これまで訪問演奏の中で、高齢者の方々が演奏に合わせて自然と口ずさんだり、涙を流されたりする様子を見て、自分たちの音楽が高齢者の方々に届いていることを感じ、本来の音楽のあり方を改めて実感しました！ご施設様からの、「ご入居者が学生の演奏を喜ばれ、励まされている姿を見てスタッフも嬉しい」「皆様が非常に楽しみにされている」との声や、毎月来てほしいという依頼がとても嬉しく、大きなやりがいを感じています。

◆ 2026年度の活動目標

2026年度も昨年度に引き続き、これまでご依頼をいただいているご施設様をはじめ様々な場での演奏活動ができるよう、単発募集制度なども活かしながら、定期的かつ安定的に活動に取り組んでいきます。また、この活動を継続・発展させていくため、サークルのメンバー拡充にも力を入れていきたいです。この活動の意義や魅力をより多くの学生に伝えられるよう、SNSでの発信や新歓活動にも尽力していきます。これらの取り組みを通して、これまで以上に多くの方々へ元気や生きる活力を届けることを目指しています。

◆ サークル情報

設立年： 2021年
メンバー数： 10人
活動頻度： ミーティング：月1回
演奏活動：およそ毎月
主な活動場所： 練習場所：学生会館
活動場所：学内カフェ「Orange cat」、各高齢者施設
参加費用： 入会費なし
3,000円(半期)

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月：新歓活動
5～10月：学内カフェ、高齢者施設等でのボランティア演奏
夏休み(8月～9月)：OB・OG演奏会(予定)
11月：早稲田祭演奏
12月：クリスマス演奏会(予定)
1月：代替わり
春休み(2月～3月)：学内カフェ、高齢者施設等でのボランティア演奏

広報

ウェブサイト

Instagram

X

LINE

YouTube



ラオス学校建設教育支援プロジェクト～スーン～

【国際交流、教育】

ラオス、教育支援、国際協力



◆ 活動内容

早稲田大学が2009年にラオス・チャンパサック県に建設した二つの小学校、ノンビエン小学校とノンサ小学校で、継続的な教育支援活動を行う。普段のミーティングでは「遺産教育」と「衛生教育」の二つを軸とした授業づくりを中心に進め、年末年始に約10日間ラオスに滞在し授業を実施。授業以外にも、家庭訪問や先生交流を通じて現地の生の声を聞く活動や、世界遺産になっている寺院「ワット・プー」への訪問を行うなど、活動地域の理解を深める機会を設けている。

◆ メンバーの声

昨年度の活動で、私は2回目となる渡航へ行きました。そこで感じたのは、「継続支援だからこその喜び」です。小学校へ足を踏み入れた時、去年一緒に遊んだ子たちが沢山私の元に駆け寄ってきました。中には去年私があげた物を大切に持ってきてくれた子もいました。この喜びはきっと継続支援をしていくスーンという団体だからこそです。毎年同じ場所に行くからこそ現地の人に寄り添った活動をしていきたい、そう思った渡航でした。

◆ 2026年度の活動目標

ラオス渡航の活動が制限されたコロナ禍が明け、3回の渡航を経た今期は、団体としての基盤が確立されてきたと感じる。その基盤の元、図書館プロジェクトの再生など、様々な挑戦と成長をしていく年にしていきたい。同時に、変化の中でも、「共に考え、共に感じる」という理念のもと、子どもたちにとって何が大切なのかを議論の軸とする姿勢は継続し、渡航に向けて準備を進めていきたい。

◆ サークル情報

設立年： 2009年

メンバー数： 17人

活動頻度： 週2回

主な活動場所： WAVOC会議室

参加費用： 渡航費 約20万
その他ワクチン代など 約5万円

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月:新歓活動
5月:ラオスフェスティバル出展
6月～12月:授業作り
11月:早稲田祭出展、リハーサル
12月下旬～1月上旬:ラオス渡航
1月～3月:渡航の振り返り、来期の年間計画、

広報

ウェブサイト

Instagram

X



田舎留学プロジェクト運営局

【地域交流、教育・環境・自然保護、農業・食育、医療・福祉、文化・芸術、ビジネス】
南伊豆、地方創生、ボランティア、学校連携、地域イベント、町の公式事業



◆ 活動内容

早稲田大学の学生有志の発案によってはじまった、南伊豆町の事業の企画や運営を担うサークル。関係人口創出によって将来的な町の担い手を確保することを目指します。町内の事業者や学校と連携したボランティア活動のほか、町民との交流、南伊豆町の交流自治体である杉並区や都内複合施設でのブース出展など、町内外で南伊豆町の関係人口創出につながる様々なイベントを、学生の主体性のもとで企画運営します。

◆ メンバーの声

事業初年度である2025年度は、①南伊豆町内での活動②町外でのPR活動に励みました。①1週間を町で過ごす「つながる田舎留学」「ふかめる田舎留学」では、町民との関わりを通じて町を第二のふるさとのように感じていく学生の姿が見られました。②東京では、早稲田大学のイベント「地球感謝祭」「稲門祭」への出店、交流自治体である杉並区における伊勢海老の味噌汁配布などを通じ、町の魅力を発信する活動に精力的に取り組みました。

◆ 2026年度の活動目標

首都圏の大学生が1週間町に滞在する「つながる田舎留学」や「ふかめる田舎留学」を基軸に、学生と町民が継続的に関わる機会を増やし、町内における田舎留学プロジェクトの存在を確固たるものにします。さらに、古民家改修による拠点づくりや南伊豆町産そば栽培といった新規事業を学生主体で推進し、町外への発信を行うことで、南伊豆町の魅力と認知度向上に貢献します。

◆ サークル情報

設立年： 2025年
メンバー数： 17人
活動頻度： 対面ミーティング：月2回～
現地での活動：年4回～
主な活動場所： ミーティング：WAVOC会議室・オンライン
活動場所：南伊豆町・首都圏各所
参加費用： 入会費：3,000円
現地活動日(1週間)：3万円程度

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

8月：つながる田舎留学事前FW
9月：つながる田舎留学・地球感謝祭
10月：稲門祭
2月：ふかめる田舎留学事前FW
2月～3月：ふかめる田舎留学
その他、定期MTG、首都圏における南伊豆PRイベント、班単位や有志での南伊豆訪問、古民家再生プロジェクト、そば栽培プロジェクトなど



広報

ウェブサイト



Instagram



X



Facebook



note



YouTube



■ 問合せ先

inakaryuugaku@gmail.com

登録サークル

アトム通貨実行委員会 早稲田・高田馬場支部

【地域交流、環境・自然保護】
地域通貨、鉄腕アトム、地域活性化



◆ 活動内容

アトム通貨は早稲田・高田馬場の更なる活性化のために生まれた地域通貨で、早稲田大学の学生が運営しています。アトム通貨は早稲田・高田馬場にある約130の加盟店で使用できます。イベントを実施し、「社会貢献活動(イイコト)」をしてくれた参加者にお礼として通貨をプレゼントしています。また、地域のイベントでも企画出展をして通貨を配布しています。活動としては、毎週のミーティングでイベントの振り返りや準備、会議を行い、まちのイベントに参加をしています。

◆ メンバーの声

このサークルを通して人と関わる大切さを学びました。入った当初は緊張して、地域の人との関わり方も分からなかったのですが、いろんなボランティアをして地域と関わっていくうちに人の役に立つ喜びを実感できました。サークルの仲間とともに地域の人と深く関わることで思いやりの心も身につき、自分も成長できたと感じます！

◆ 2026年度の活動目標

アトム通貨は1番の目標として、早稲田・高田馬場の周辺地域を活性化し、盛り上げることを目標として活動しています。街のイベントに参加して、一緒にワークショップをしたり、こどもたちと触れ合うことを通して地域の人と関わったり、その他にもできることを探して、サークルのみんなと一緒に楽しく早稲田・高田馬場のまちで活動をしていくことを目標にしています！

◆ サークル情報

設立年： 2004年
メンバー数： 26人
活動頻度： ミーティング：週1回
活動：月1回程度(任意参加)
主な活動場所： ミーティング：学生会館
活動場所：早稲田・高田馬場周辺
参加費用： なし

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月：新歓
6月：ふるさとまつり
9月：地球感謝祭、合宿
11月：早稲田祭、西早稲田こども天国
3月：期末換金

広報

ウェブサイト



Instagram



X



Facebook

早稲田大学POST

【地域交流、環境・自然保護、農業・食育】

オールジャンルボランティア、高齢者交流、ごみ拾い、農業



◆ 活動内容

早稲田大学POSTは、ボランティアであればなんでもできる、オールジャンルが特徴のボランティアサークルです。主な活動は、高齢者の方々との交流サロン、放課後デイでの支援活動、ゴミ拾い、長期休み中の農業体験合宿、その他イベント運営など様々な単発ボランティアです。ボランティアを通して、子どもから高齢者まで、幅広い年代の方と交流しています。

◆ メンバーの声

2025年度は様々なボランティア団体が集う「エンカルクampus」への参加や、初めて早稲田祭の出店をするなど活動の範囲を広げていきました。それらを通してPOSTのモットーである「つながり」をさらに感じるこ

◆ 2026年度の活動目標

POSTだからこそ得ることができる温かい「つながり」を大切に、活動を行いたいと考えています。前年度までのボランティアで生まれたつながりはもちろん、新しいつながりも求めて様々なボランティアを引き受けていきます。また、つながりは外に向かうだけでなく、内にも向かいます。サークル内メンバーとも前年度以上につながりを実感できる場所にしていきたいです。

◆ サークル情報

設立年： 2013年

メンバー数： 23人

活動頻度： ミーティング 週1回、地域の高齢者との交流 月1回、学童のお手伝い 任意、ゴミ拾い 月1回、農業体験合宿 年2回、その他活動 不定期

主な活動場所： ミーティング：学生会館、zoom
活動場所：西早稲田地域交流館、早稲田大学周辺

参加費用： 年会費：2000円

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

週1回：ミーティング

月1回：高齢者交流サロン、ごみ拾い

夏休み：農業体験合宿(2泊3日)

11月：早稲田祭

春休み：農業体験合宿(2泊3日)

その他放課後等デイサービスの活動や単発ボランティアの引き受け

広報

ウェブサイト

Instagram

X

Facebook



学習支援STEP UP!

【教育】 学習支援



◆ 活動内容

学習支援STEP UPは、毎週土曜に授業を実施し、オンラインと新宿等の対面教室に加え、北九州・前橋・高知・長崎など各地でも指導している。学力支援にとどまらず、生徒が自立して生活できる力を育むことを重視する。対面教室では食事提供も行い、家庭や学校で居場所を得にくい生徒が安心して過ごせる場づくりも担っている。

◆ メンバーの声

私たちの活動は、子どもたちに勉強を教えることだけではありません。授業の中で頑張ったことや嬉しかったことを互いに共有し、褒め合うワークショップを行ったり、オンラインイベントを企画・運営したりと、子どもたちとさまざまな時間を共にしています。最初は緊張している子どもも、同じ時間を重ねる中で少しずつ心を開き、学校での出来事などを話してくれるようになります。そうした何気ないやり取りの積み重ねが、子どもたちが自分に自信を持ち、自分や周りの人を大切にできるようになるきっかけにつながっていると感じています。子どもたちの笑顔に、私たち講師も元気をもらっています。

◆ 2026年度の活動目標

2026年度初頭の目標は3点。①生徒数・ボランティア講師数を増やし、特に早大生の参加拡大で運営基盤を強化する。②対外活動を広げ、北九州・前橋・高知・長崎など各地教室での企画実施と、東新宿の新教室立ち上げ対応を進める。③支援団体・企業との連携を深化し、日本ハム等との協働イベントを継続・拡充する。

◆ サークル情報

設立年： 2016年
メンバー数： 20人
活動頻度： ・学習支援：1回/週
・全体mtg：1回/2ヶ月
・サークルイベント：1回/月
主な活動場所： ・オンライン
・各教室（西新宿・江古田中心）
参加費用： 年会費：なし
現地活動費：なし

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

春：前橋教室訪問
夏：北九州教室訪問
秋：早稲田祭開催

広報

ウェブサイト



Instagram



X



ボルネオプロジェクト

【国際交流、教育】
海外教育ボランティア



◆ 活動内容

夏休みと春休み期間中に約3週間、マレーシアのボルネオ島にあるコタキナバルという都市へ行き、無国籍の子どもたちが通う学校を訪れ、教育支援を行っています。その他にも村の訪問や現地の方へのインタビューも実施します。コタキナバルでの活動は現地の大学生と協力しながら進めます。授業期間中は渡航に向けた教育企画作りやマレー語の勉強などを週1回の頻度で行います。

◆ メンバーの声

無国籍問題は、マレーシアでは関心をあまり持たれていない問題です。学生ボランティアとして、私たちができることは限られています。しかし、私たちが現地にいくことは無国籍で「invisibleな存在」の子どもたちを「visible」にする大切な第一歩になると考えています。これからも子供たちが幸せに暮らしていけるように、学生ボランティアとしてできることを精一杯考え続け、活動していきます。

◆ 2026年度の活動目標

2026年度はマレーシアボルネオ島での夏・春休みでの約3週間の渡航を計画しています。「出会ったすべての子どもたちとしあわせを育む」という理念のもと、言語の壁を越え全ての子どもたちが楽しめる授業の実現に取り組みます。その中で、過去の活動報告書を参考にしながら、より新しい私たちだからこそできる授業の実現を目指します。

◆ サークル情報

設立年： 2006年
メンバー数： 10人
活動頻度： 週1回のミーティング
春・夏休みの約3週間の渡航
主な活動場所： ミーティング：WAVOC
活動場所：マレーシア ボルネオ島コタキナバル
参加費用： 入会費・年会費なし
渡航費用 約14万円

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月：春新歓、歓迎会
5～8月：企画・渡航準備
9月：夏渡航(約3週間)
10月：渡航振り返り
11～12月：秋新歓、歓迎会
1月：企画・渡航準備
2～3月：春渡航(約3週間)

広報

ウェブサイト

Instagram

X

Facebook



■ 問合せ先

borneoproject2024@gmail.com

登録サークル

つぼみプロジェクト

【地域交流、教育、防災・災害復興】
南相馬、キャリア教育、学習支援



◆ 活動内容

つぼみプロジェクトは、東日本大震災で地震・津波・原発の被害が大きかった福島県南相馬市の小中高生を対象に、キャリア教育や学習支援による震災復興支援を行っています。現地に於て春夏に開催する教育イベントを中心に、震災・原発事故によって自分の将来を考えにくい状況に置かれた子どもたちと交流、支援活動を行っています。

◆ メンバーの声

今年度は春夏に開催している教育イベントのほかに、月に一度対面やオンラインによる学習支援を行いました。何度も現地を訪れ小中高生と交流する中で、彼らと大学生の間に信頼関係やきずなが生まれたと感じることができました。

◆ 2026年度の活動目標

2026年度は、現地の子どもたちや保護者とのつながりやきずなを大切に、それをより強いものにしていきたいと思っています。そのために、現在行っているオンラインや対面での学習支援をさらに充実したものにし、子どもたちと交流する機会を増やしていきたいと考えています。さらには、イベント内容も社会の変化に合わせ、子どもたちにとって有意義なものになるように工夫していきたいと思っています。

◆ サークル情報

設立年： 2014年

メンバー数： 15人

活動頻度： ミーティング：週1回
活動：月1回

主な活動場所： ミーティング：NPO法人ROJE関東
事務所
活動場所：南相馬市周辺

参加費用： 年会費3,000円

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

5月：現地イベント参加

8月：教育イベント開催

2月：学校ボランティア、教育イベント開催

その他：年間を通じての対面・オンライン学習支援

広報

ウェブサイト



Instagram



X



Facebook

NPO法人 ROJE 学校ボランティアプロジェクト

【教育】



◆ 活動内容

都内の小学校にボランティアを派遣し、先生のサポートを行います。教員志望の学生に限らず、学校現場に興味のある学生に募集をかけ、ボランティアを募ります。実際に現場で働く教員の方との年2回のヒアリングを通して現場の声を聞くことができます。また、不定期で講師の先生をお招きし、ボランティア研修会を行います。ボランティア活動をする上で必要な知識やスキルを学ぶことができます。

◆ メンバーの声

学校の管理職の先生とお話しすることで学校現場について理解を深められる機会は、なかなかない経験だと思います。また、運営としてミーティングの進行やマネジメント能力を身につけることができます。社会に出ても役立つスキルが身につきます。

◆ 2026年度の活動目標

2026年度はボランティアと運営を兼任する人を増やし、ボランティアとしても運営としても学校現場を支える立場として活動していきたいと思っています。活動に役立つ研修会やボランティア同士の交流会を行いたいと思います。実りのある活動になるように運営としても全力でサポートしていきたいと思っています。学校現場のサポートをさまざまな立場からしていきたいと思っています。

◆ サークル情報

設立年： 2007年
メンバー数： 10人
活動頻度： ミーティング:月2回
活動:週1回(任意参加)
主な活動場所： ミーティング:オンライン
活動場所:オンライン・ROJE事務所
参加費用： 年会費:3,000円

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

通年:ボランティア活動
不定期:研修会・交流会
2～3月:学校訪問
夏休み:ROJE夏合宿
9～10月:学校訪問
12月:ROJE年次集会

広報

ウェブサイト

Instagram

X

Facebook



まっちワークグループ早稲田

【地域交流】
ボランティア



◆ 活動内容

より多くの人にこの早稲田のまちの魅力を知ってもらえるよう、商店会の方や小学校などの協力のもとイベントの企画・運営、独自の地域誌の発行などを行っています。またそれらに向けた準備、話し合いのため、毎週水曜日に定例会を行います。大学周辺地域(早稲田、高田馬場)の商店会や地域の方々と早稲田生が一丸となり、学生という視点を活かしながら、地域活性化を目指します。

◆ メンバーの声

早稲田のまちをたくさん知り、地域の方とのつながりをつくることができた点が自分自身の大学生活の充実性にもつながりました。まっちに入らなかったら絶対にかかわりを持つことがなかった人や、行事とかかわりを持つことができました。

◆ 2026年度の活動目標

これまで通りイベントの運営に力を入れるだけでなく、商店街の方々とつながりを大切にしながら、学生からの商店街に対するアプローチを増やし、積極的にイベントの企画を行いたいです。そうすることによって、商店街の方々に、イベントを行う際は「まっちワークにお願いしたい」とさらに思ってもらえるようにしたいです。

◆ サークル情報

設立年: 2000年

メンバー数: 114人

活動頻度: 定例:週1回

主な活動場所: 定例:学生会館会議室

参加費用: 年会費3000円

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月 新歓活動
6月 ふるさとまつり(新宿区立戸塚第一小学校)
7月 わくドキサマーセミナー(新宿区立戸塚第一小学校)
8月 肝試し(新宿区立戸塚第一小学校)
9月 地球感謝祭、夏合宿
10月 かつおフェスタ、稲門祭
11月 早稲田祭、西早稲田こども天国(大隈通り商店街)
12月 引退式
2月 開運メシ(大隈通り商店街)
3月 春合宿、さくらまつり(西早稲田地域交流館)

広報

ウェブサイト



Instagram



X



■ 問合せ先

hakken.match@gmail.com

公認サークル

池袋子ども会

【地域交流、教育】

池袋、子ども会、



◆ 活動内容

私たち池袋子ども会は、毎週日曜日の午前中に豊島区の小学校で子どもたちと触れ合い、木曜日には季節のイベントの企画等を学生で話し合います。当会の絶対的目標は、子どもに普段できない体験を味わわせることです。子どもにとって、かけがえのないものとは何なのか。目線を合わせて考えるのは少し難しいですが、彼らが見せてくれる、太陽のようにまぶしい笑顔は、私たちの思い出にもなります。サークルの雰囲気は、まったりとしており、学生にとっての温かい居場所でもあります。「子供が好き」が入会条件です。ぜひ、お待ちしております。

◆ メンバーの声

池袋子ども会の活動に2年ほど参加させていただいているのですが、いつも明るい雰囲気とても楽しいです。日曜日に行われる通常活動もそうですし、特に季節ごとに行われているキャンプや風の子祭りのイベントにみんなでたくさん力を入れることなど、子どもとも学生同士でも仲良くなる機会が数多くあります。

◆ 2026年度の活動目標

2026年度は、安全で安心できる子ども会運営の確立を活動目標とします。すべての活動において事前の下見やリスク確認を徹底し、事故やトラブルを未然に防ぐ体制づくりに取り組みます。また、活動内容や判断経緯を幹部間で共有し、役割分担を明確にすることで、運営の透明性を高めていきます。さらに、子ども・保護者・地域との信頼関係を大切にし、丁寧な連絡や説明を心がけることで、安心して参加できる環境を整えます。こうした積み重ねを通じて、継続的で信頼される子ども会を目指します。

◆ サークル情報

設立年： 不明
メンバー数： 81人
活動頻度： ミーティング：毎週木曜日
活動：隔週日曜(月2回程度)
その他イベント多数
主な活動場所： 早稲田大学学生会館
東京家政大学
南池袋小学校
参加費用： 年会費5000円
その他イベントごとに集金有り

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月：新歓
5月：春のハイキング
8月：キャンプ
9月：花火大会・学生合宿
10月：秋のハイキング
12月：風の子祭り・クリスマス会
2～3月：卒業ハイキング・卒業イベント・学生合宿
隔週日曜(月2回程度)：通常活動

広報

ウェブサイト

Instagram

X

Facebook

ブログ



無国籍ネットワークユース

【地域交流、国際交流、教育】

難民 無国籍



◆ 活動内容

私たちは「自分たちの学び」、「社会認知向上」、「当事者との関わり」の活動理念を掲げ、無国籍・難民問題に取り組んでいます。具体的な活動例として、月2回程度のオンライン勉強会で無国籍に関する書籍や最新の事例を取り扱い無国籍問題への知見を広げます。また年に一度、マレーシアに赴き、現地の教育機関に訪問し、無国籍の当事者から学びの機会をいただきます。そして、無国籍問題の啓発活動として、絵本の読み聞かせやSNSでの発信に尽力しています。

◆ メンバーの声

SNYでのオンライン勉強会やミーティングを通して、フィリピン残留日系人について学び、理解を深めることができました。勉強会ではまずドキュメンタリーを鑑賞し、その後に感想を共有しました。その中で、国籍(ハード)とアイデンティティ(ソフト)の関わり複雑さや、「戦争が終わった」と簡単には言えない現実を改めて感じました。(2025年 8/5 に行われた「忘れられた日本人-フィリピン残留日系人二世の戦後80年」のイベント後の感想)

◆ 2026年度の活動目標

私たちは、無国籍・難民問題を理論的な理解にとどめるのではなく、現地での学びを社会へ還元することを目指しています。マレーシア研修で当事者や教育機関から得た知見を、報告会やSNSでの発信、学内イベントを通じて共有し、無国籍問題を「遠い課題」と捉える認識の変化につなげます。また、継続的な勉強会を通じて知識をさらに深め、当事者と持続的に関わるための基盤を構築します。

◆ サークル情報

設立年: 2014年
メンバー数: 24人
活動頻度: ミーティング月2回
活動月1回程度(任意)
主な活動場所: オンライン上でのミーティング
難民施設での現地活動
参加費用: なし

◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月:春新歓
5～10月:企画(トークセッション、教育機関や難民施設への訪問等)
10月:秋新歓
11月:早稲田祭
12月～1月:企画、渡航準備
3月:マレーシア研修(1週間～2週間)

広報

ウェブサイト

Instagram

X

Facebook



■ 問合せ先

stateless.youth@gmail.com

登録サークル